

AsiaNet 62182 (1350)

2016 Green Car Of The Year のファイナリスト 5 車種発表 LA オートショー

【ロサンゼルス 2015 年 10 月 15 日 PR Newswire=共同通信 JBN】

*第 11 回 Green Car Of The Year (R) はロサンゼルス・オートショー (LA Auto Show、R) プレス&トレードショー・デーの 11 月 19 日に Green Car Journal が発表

Green Car Journal (<http://greencarjournal.com>) は、同誌の著名な 2016 年 Green Car of the Year (R) 賞ファイナリスト 5 車種を発表した。候補となった 2016 年モデルの 5 車種は Audi A3 e-tron、シボレーボルト、ホンダ・シビック、ヒュンダイ・ソナタ、トヨタ・プリウス。

Green Car of the Year (R) プログラムに適するとみられる新型車は毎年増加しているが、これは燃費効率が高く環境への影響が小さい新型車を提供する自動車業界の努力拡大を表している。Green Car Journal は 2005 年の LA オートショーで初めて同賞を発表して以来、毎年最も重要なグリーンカーを顕彰している。

Green Car Journal と CarsOfChange.com の編集長兼社主であるロン・コーガン氏は「これは Green Car of the Year (R) プログラムでファイナリストが最も得意とする分野である。候補となった 5 車種は、今日のドライバーにとって最も大切ことを認識する共通の戦略に基づいて、それぞれが全く異なる方法で環境に強力的に対処している。これら車種が幅広いパワートレイン技術を使用することは、すべてのアプローチが重要な環境上の目標達成に不可欠であることを裏付けている」と語った。

□ファイナリスト

*AUDI A3 E-TRON

Audi の A3 Sportback e-tron は、最新のプラグイン・ハイブリッド車市場に参入した車である。この 5 ドア・ハッチバックは全電動で最長 19 マイル走行可能なリチウムイオン電池と 102 馬力電動モーターを使用しており、150 馬力、1.4 リットル・ガソリン TFSI エンジンが効率的なハイブリッド走行で走行距離を伸ばす力を提供する。

*シボレーボルト

シボレーの第 2 世代ボルトは、スポーツカー的なスタイルで性能が向上しており、より軽量で強力な 2 モーター駆動方式を採っている。5 人乗り電池走行だけで最長 53 マイルと距離を伸ばしており、車載の 1.5 リットル・ガソリン発電機は電気を発生させて全走行可能距離を 420 マイルに伸ばす。

*ホンダ・シビック

全く新しくなった 10 代目のホンダ・シビックは、手頃な価格の通常型エンジン車として模範的な燃費効率を提供している。シビックは、非常に多くのドライバーのニーズに合ったアメニティーと先進的エレクトロニクスを取りそろえ、ハイブリッド的な燃費と魅力的なスタイルを周到にブレンドしている。

*ヒュンダイ・ソナタ

ヒュンダイのスタイリッシュな 2016 年ソナタは、ソナタ・ラインアップの中から効率的なガソリン、ハイブリッド、プラグイン・ハイブリッドのいずれをも選択できるようになっている。今年新たに登場したのは、1 ガロン当たり最長 43 マイルを提供し際立ったスタイルのハイブリッド車。ソナタ・プラグイン・ハイブリッドは電池のみで 24 マイル走行可能で、通常のハイブリッド走行により距離を伸ばす。

*トヨタ・プリウス

尊敬に値するトヨタ・プリウスは 2016 年モデルで全く新しいデザインとなり、重要なデザイン、技術、効率を最新のものとし、業界を主導するハイブリッド車の期待に忠実に応えている。同車はより良いドライブ力を提供するサスペンションその他の改良を取り入れ、見慣れてはいるがより大胆な外見を備えている。

Green Car of the Year (R) は著名審査団の多数決によって選定される。審査員は自動車ファンのセレブ、ジェイ・レノ氏のほか、Ocean Futures Society のジャンミシェル・クスター社長、Global Green USA のマット・ピーターセン取締役、国際クリーン交通委員会 (ICCT) 名誉会長のアラン・ロイド博士、環境に責任を持つ経済のための連合 (CERES) のミンディ・ラバー会長、省エネルギー連盟 (ASE) のカテリ・キャラハン理事長ら名高い環境・効率組織の代表が務める。

Green Car Journal の編集者たちは審査過程で膨大な潜在的候補を最終 5 車種に絞るため、自動車、燃料、テクノロジーすべての面を検討した。ファイナリストは環境性能の水準を引き上げる成果によって選出された。効率、米環境保護庁 (EPA) とカリフォルニア大気資源委員会 (CARB) 排出認証、性能特性、「新規さ」、値頃感など多くの要素が検討された。大衆市場で入手できることが環境影響上の本当の違いをもたらす優秀モデル確定の要因になり、ファイナリスト各車は受賞年次の 1 月 1 日までに発売されている必要がある。

□ Green Car of the Year (GCOY、(R)) について

Green Car Journal は 1992 年に創刊されて以来、自動車、エネルギー、環境の分野における

リーダー的権威として認められている。GCOY 賞は、自動車産業における環境上の進歩を紹介する Green Car Journal の重要な使命の一つである。CarsOfChange.com (<http://www.carsofchange.com/>) はオンラインで、「green car」の記事とコネクティビティに焦点を当てた記事を掲載している。Green Car of the Year (R) は Green Car Journal と RJ Cogan Specialty Publications Group, Inc.の登録商標である

ハッシュタグ：#GreenCarJournal

□ ロサンゼルス・オートショーおよびコネクテッド・カー・エキスポについて

1907年に始まったロサンゼルス・オートショー (Los Angeles Auto Show (R)) は、毎シーズン最初に開催される主要な北米自動車ショーである。2015年のLA オートショーのプレス&トレードデー (Press & Trade Days) は11月17日、L.A. LiveにあるJW マリオットでコネクテッド・カー・エキスポ (CCE) を皮切りに始まり、引き続き11月18、19の両日 Los Angeles Convention Center でLA オートショーの車両初公開およびプレス&トレード・イベントが開催される。LA オートショーは11月20日から29日まで一般公開される。第3回 CCE は、コネクテッド・カー業界において開発を促進し、関係構築を助長するために自動車およびテクノロジーの専門家を結びつけ、出席者にコネクテッド・カーの未来を築く主要企業および一流メディアへのアクセスを提供する。CCE 会議は、車両の製造、販売、サービス、所有の基準が変化していることから、その戦略を練る舞台となる。AUTO Connected Car News が「Best Car Tech/Connected Car Trade Show (最高の車両技術/コネクテッド・カー展示会)」に選んだ CCE は、新しい自動車業界がビジネスを行い、画期的な製品を公開し、世界中から集まるメディアの前で戦略を発表する場でもある。LA オートショーはロサンゼルス大都市圏 (Greater L.A.) New Car Dealer Association の後援を得て ANSA Productions が運営する。

最新の LA オートショー関連ニュース、情報は Twitter(<http://twitter.com/LAAutoShow>)か Facebook (<http://facebook.com/LosAngelesAutoShow>) をフォローし、アラート (<http://www.LAAutoShow.com>) に登録を。CCE に関する詳しい情報はウェブサイト (<http://connectedcarexpo.com/>) を参照。

ハッシュタグ：#LAAutoShow

□ メディア問い合わせ先

Breanna Buhr/Sanaz Marbley

JMPR Public Relations, Inc.

+1-818-992-4353

bbuhr@jmprpublicrelations.com

smarbley@jmprpublicrelations.com

ソース : Los Angeles Auto Show